

— 会 告 (I) —

塑性加工専門講演会プログラム

(高分子学会, 精機学会, 塑性加工研究会, 日本金属学会,
日本鉄鋼協会, 日本機械学会 連合)

日 時 昭和 31 年 10 月 25 日(木), 26 日(金), 27 日(土)

会 場 愛知県商工館 (名古屋市中村区堀内町 名古屋駅前)

第 1 日 10 月 25 日(木) 見学会

第 2 日 10 月 26 日(金) 9 時開会

(* 印 講演者)

- (1) 矩形断面棒の弾塑性捩れ (15分)
山内 弘, 林 郁彦, *石原兼一
- (2) 平面ダイスによるくさびの圧縮 (15分) 井上信雄
- (3) 金属材料の塑性変形抵抗 (第 1 報) 試験機および
低炭素キルド鋼の測定結果 (20分) 橋爪 伸
- (4) 塑性曲線の最終点の意義 (15分) 高瀬恭二
- (5) 薄板の塑性曲げについて (15分)
益田森治, *戸沢康寿
- (6) プレス機械の作業時における動的特性について
(15分) *益田森治, 森田 稔
- (7) せん断加工工具用材料の摩耗試験 (第 2 報)
(20分) 齋藤 博
- (8) 薄板の打抜きに関する塑性学的研究 (第 1 報)
(15分) 益田森治, *神馬 敬
- (9) 深紋りの塑性理論 (第 3 報) (15分) 室田忠雄
- (10) (11) (12) 深紋り加工におけるしわの発生につ
いて (その 3, その 4, その 5) (各 15分)
宮川松男
- (13) 深紋りのしわおよび抑制機構 (続報) (20分)
春日保男, *河合 望
- (14) 円筒深絞り容器の残留応力 (第 3 報) (20分)
馬場秋次郎
- (15) 絞りビードについて (15分) 福井伸二, *吉田清太
- (16) ハイドロフォーミングについて (第 2 報)
(15分) 室田忠雄
- (17) 液圧成形 (続報) (15分)
福井伸二, 吉田清太, *阿部邦雄
- (18) 砂型を使用した深絞り法 (20分) 井上威恭
- (19) 底に孔がある円筒容器の張出し (20分) 吉田清太
- (20) 線材の矯正について (第 1 報) 多ローラ矯正機
の特性について (20分) 日比野文雄

第 3 日 10 月 27 日(土) 9 時開会

- (21) 鋼管の復動矯正について (20分)
*宇提孝男, 谷田小平
- (22) ステンレス鋼線の引抜の際の各種 Coating に
ついて (15分) 鈴木 弘, *大井澄佳
- (23) りん酸塩被膜について (第 1 報) (20分)
*三角親慶, 今井 宏, 猿橋秀夫
- (24) 円弧ダイスによるパイプ引抜に関する実験
(20分) 西原利夫, 覚前陸夫,
中村 寛, *山内祥義
- (25) 円弧ダイスによるパイプの引抜応力の計算
(15分) 西原利夫, 覚前陸夫,
*中村 寛, 山内祥義
- (26) 細線の調整についての一考察 (15分) 長屋 稔
- (27) 線材の逆捻回試験について (15分)
鈴木 弘, 橋爪 伸, *伊藤保男
- (28) 引抜加工による歯形の成形について (15分)
福井伸二, 久能木真人, *曾田長一郎

特別講演 私の見たアメリカ (1 時間) 覚前陸夫

- (29) 線材の圧延について (第 1 報) 平線圧延の変形
について (15分) 鈴木 弘, *柳本左門
- (30) 平滑ダイスで張力を加えた圧延方法について
(15分) 山内 弘, *松浦佑次,
堤田政章, 丸田 毅
- (31) エキスパンダ作業のローラ圧力について (15分)
広瀬洋太郎
- (32) 衝撃押出加工の研究 (第 4 報) (15分)
福井伸二, 工藤英明, *清野次郎
- (33) 軟鋼および特殊鋼の冷間押印け加工 (20分)
久能木真人
- (34) 凸型部品の圧印加工 (15分) 工藤英明
- (35) 塑性流れの直接連続的観察法 (15分) 工藤英明
- (36) 加工硬化の方向性 (第 6 報) (20分)
*斎藤浩一, 塩田治男, 井垣 久
- (37) Plasticine の 2, 3 の性質について (15分)
栗野泰吉, 落合正男

前 刷 上記講演には前刷がありますから 10 月 15 日まで下記あて着信するよう代金を添えてお申込み下さい。(前刷は全講演をまとめて 1 冊) 定価 1 冊 金 200 円 (送費負担)

申 込 先 東京中央局区内 千代田区丸の内 2 の 2 丸ビル 561 区 日本機械学会

原子力シンポジウム開催について

わが国においても原子力に関する研究並びにその開発利用の準備は着々と具体化してまいりました。すでに大学、研究所、会社などでこの方面を専攻しようとする研究者の数も相当数に達し、なお急増しつつある現状であります。

原子力が今後の科学技術、ひいては一般社会に及ぼす影響の大きなことはすでに疑のないところであり、またその研究開発利用が在来の科学技術のほとんどすべての分野に関するものであることも周知のところであります。

従つてその健全なる発展には、原子力に関連する各科学技術分野の研究者が広く知識を交換し、研究成果を発表し、かつその内容について討議しあう機会をもつことが必要と思われま

す。日本学術会議においては今春以来原子力特別委員会を設け、この問題について審議してまいりましたが、このたび下記により、日本学術会議が中心になり関係学会、協会の共催のもとに原子力シンポジウムを開催することになりました。本協会におきましては趣旨に賛同し、共催いたすことになりました。

このシンポジウムでは総会講演と一般研究発表とが行われ、一般研究発表は

(A) 物理、原子炉関係 (B) 化学、材料(核燃料を含む)関係

(C) 生物、医学、アイソトープ(保健物理を含む)関係

の三部門に分けて行われます。

一般研究発表御希望の方は東京都台東区上野公園内日本学術会議「原子力シンポジウム」係あて返信用封筒を添付の上申込用紙を御請求下さい。(講演申込も同係宛)

日 時：昭和 32 年 1 月 13 日～15 日 場 所：東京

一般研究発表の申込締切期日：昭和 31 年 10 月 31 日

附記：本シンポジウムで発表された研究は本協会講演大会で発表されたものと同様に扱う。

「材料の強度及び疲労」に関するシンポジウム (第1回)

日本鉄鋼協会、日本機械学会、日本材料試験協会、日本金属学会(強度小委員会)共催

【趣 旨】 破壊や疲労など強度における基本的諸問題を物理学、金属学、製造冶金学、材料試験学及び応用力学などの各関連分野と緊密な連合のもとに、包括的に究明することを目的とします。材料の製造者、使用者、研究者の総合的協同研究の発展のために関係各方面の多数の方々のご参加、御討論を歓迎いたします。

日 時 昭和 31 年 10 月 11 日(木) 午後 1 時～4 時半

会 場 広島市皆実町 3 丁目 広島大学皆実分校

題目並に講師 (○印講演者)

題 目	時 刻	講 師
(1) 材料の腐蝕疲労	1:00～1:35	広島大学工学部 機械工学科教授 工博 遠藤 吉郎
(2) 鉄鋼薄板圧延の限界	1:40～2:15	東洋鋳鉄 K.K. 下松工場 工 久能 一郎
休 憩	10 分	
(3) 亜鉛多結晶の Cleavage crack.	2:30～3:05	東北大学工学部金属工学科教授 工博 川崎 正之 東北大学工学部金属工学科 ○工 市山 正
(4) 疲労による Crack と金属組織	3:10～3:45	住友金属工業 K.K. 製鋼所 工博 西岡 邦夫
(5) 鍛鋼品の疲労強度の二、三の問題	3:50～4:25	神戸製鋼所 研究部 工 土屋 秀介

— 会 告 (II) —

「鉄鋼製造法」上巻及び中巻発行について

原名 “The Making, Shaping and Treating of Steel”

かねて本会において翻訳委員会を設け編纂を進めていました標記の書籍が、この程漸くでき上り、上巻は6月25日中巻は8月25日丸善から発行されました。(内容は7月号に挿入の丸善のサーキュラを御覧下さい)については、会員に限り割引くことを丸善と交渉しましたが、業者間の規約によりでき兼ねるとのこととありますので、協会の負担において一割引とし、会員各位の御便宜をはかりたく存じます。ただし送料も協会負担と致しますので、その都合で5部以上取りまとめたの御注文に対し割引致します。(下巻発行の場合も同じ。下巻は9月末発行の予定)

本書は現場作業の方には、よい参考書と思われるのでお勧めいたします。割引での御注文は5部以上取りまとめの上直接協会宛代金添え御申込み下さるよう御願い申し上げます、もつとも協会まで御足労願えれば一部にても割引して差上げます。 定価 900 円 (各巻とも) 割引 810 円

鉄 と 鋼 (第 21 年 ~ 第 40 年) 総索引発行
(昭和10年1月~29年12月)

かねて会告してありました本会創立40周年記念事業の一つとして計画された会誌「鉄と鋼」第21年から第40年まで20年間の総索引が遅れながら、このほど漸く完成致しました。(B5判104頁)

本書は田中清治前会長を委員長とし、本会各編集委員が委員となつて、昨年以來編集に精励努力された成果であります。

総索引の内容は紙面の都合で論文・講演および技術資料に限り、著者索引と題目索引の二つに編集されてあります。過去20年間に本会誌に掲載されました多数の文献は会員各位の努力の結晶でありまして、索引はその案内または手引としての役目をなすものと信じます。目下発送準備中でありまして、さきに御申込のあつた会員諸君には無償でお送りします。

なお多少余部がありますので、この際御希望の方にもお分けいたしますが、この分については送料その他の費用として一部金100円を添えて早目に御申込み下さい。

第52回講演大会における特別講演並に映画に関する件

標記の件については現在迄の所下記の通りにつき御了承願います。

特別講演:

特殊合金の話 東北大学金属材料研究所長 理博 増本量氏
金属と文化 東京大学名誉教授 工博 三島徳七氏

映 画:

1. Packaged Power: 日本軽金属株式会社提供
2. 鉄鋼に関するもの (選定中)